



UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリー会長のメッセージ

会長 布施 孝 尚

幹事 加藤 亮 夫

会報 猪股 育 夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327

ガバナー月信

佐沼RCホームページ

第2960回例会 2025. 7. 10 No.2

本日の出席率

- ・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・布施孝尚会長 本日も先週に引き続きクラブ協議会です。よろしくお願いします。
- ・千葉正宏会員 誕生祝いありがとうございました。
- ・阿部泰彦会員 クラブ協議会、ご苦勞様です。
- ・佐藤敬喜会員 暑中お見舞い申し上げます。
- ・高田次雄会員 夏の暑いのは当り前と認識しておりましたが、近年の夏は半端じゃない暑さ。体が元手の皆さんご自愛下さい。本日のクラブ協議会、楽しみです。
- ・伊藤秀雄会員 布施孝尚会長、先週欠席致しましたので、改めて頑張ってくださいようお願い申し上げます。益々のご活躍を!!
- ・加藤亮幹事以下、クラブ協議会につき
猪股育夫会員 佐々木源悦会員 岩渕正彦会員
熊谷敏明会員 菅原慶一会員 山田正会員
小野寺伸浩会員 富士原裕子会員 武川毅会員
及川昭宏会員 杉田広仁会員 佐藤早智子会員
大畑好司会員 佐藤哲弥会員 志賀昭洋会員
村上正弘会員 及川幾雄会員 千葉隼人会員
岡本健一会員 三浦義幸会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 布施孝尚会長

昨日までは暑さが続いておりましたが、今朝外に出た時にさわやかな感じがしてほっとしました。
今日で2回目の会長要件ですが、未だ未だ慣れず緊張しています。
7月は「母子の健康月間」です。「母子の健康月間」は、母親と子どもの命と健康を守ることに焦点を当てた特別月間です。ロータリークラブでは、毎年7

月をこの月間として定め、世界中でさまざまな活動が行われています。

○主な目的と活動内容

- ・妊産婦と乳幼児の死亡率の低減
- ・安全な出産環境の整備
- ・予防接種や栄養指導の推進
- ・医療従事者の研究支援
- ・母子手帳の普及と活用（日本独自の取り組みで世界から注目されている）
- 世界的な取り組み
- ・ハイチやウガンダなど医療が届きにくい地域に移動診療所や医療機器の提供
- ・モンゴルでは助産師による出産教育で妊産婦の死亡率を大幅に改善することの取り組み。
- ・インドではがん検診の移動設備を導入し、女性の健康支援を強化

この月間は、母子の命を守るために何ができるかを考えるきっかけにもなります。2023年における日本での出産死亡率（出産時に妊婦が亡くなる率）は、出産10万件に対して3.5人となっています。出産死亡率は、時代が進むにつれて減少していく傾向が見られます。また、世界でみると、日本の出産死亡率は、比較的低くなっています。

○日本の妊産婦死亡率（出産10万件対）の年次推移
出産死亡率は、100年前と比べると格段に低くなりました。わが国の妊産婦死亡率（出産死亡率）は、1900年ごろには出産10万件に対して400件近くあったが、1940年ごろには出産10万件に対して200人程度と半分程度になりました。1960年以降出産死亡率は大きく減少しはじめ、1980年ごろには出産10万件に対して20人程度となりました。

1982年以降で見ても、1982年の妊産婦死亡率は出産10万件に対して18人程度だったのが、1990年代になると10人弱程度となり、1995年ごろからは6人程度、2004年ごろからは5人前後となってきました。

こうしてみると、2022年の出産死亡率（出産10万件に対して4.1人）は、長年の医療の発達により到達してきた、非常に低い水準であることが分かります。

日本の出産死亡率は、国際的に見ても低い水準となっています。主要国の最新年次の出産死亡率は以下のようになっています。（出産10万件に対して）

アメリカ合衆国（2020年）	35.6人
カナダ（2019年）	7.5人
フランス（2016年）	4.4人
ドイツ（2020年）	3.6人
イタリア（2017年）	3.5人
イギリス（2019年）	3.9人
日本（2016～2020年）	2.7人～3.4人

以上のとおり、上に挙げた国々と比べると、日本の出産死亡率が最も低くなっていたのです。

妊産婦に対するケア、定期的な検診、検診機器の確保が大きな要因と思われます。しかしながら、数は少ないながら望まれない妊娠で検診を受けない妊婦がいるという状況があり、こういったことが少子化が進む一因とも考えられ、しっかりと取り組みを進めていかなければなりません。

「母子の健康月間」につき私の感じたことをご紹介します。

日本の妊産婦死亡率（出産10万対）の年次推移



日本の妊産婦死亡率（出産10万対）の年次推移（1982年以降）



幹事報告 加藤亮幹事

- ・RI日本事務局・ロータリー財団より
ポールハリスフェローのバッチが届く
太田陽平会員 2回目（マルチプル+1）
- ・石巻保健所より
薬物乱用防止キャンペーン実施について
日 時 7月29日(火) 14:00~16:00
場 所 イオンタウン佐沼
- ・ガバナーより
台北国際大会参加のお願い
日 時 2026年6月14日(日)~17日(水)
場 所 台湾・台北市

各委員会報告

- ・パスト会長会（千葉正宏代表幹事）

- ・パスト会長会開催のお知らせ
日 時 7月31日(木) 18:30~
場 所 サンシャイン佐沼
- ・社会奉仕委員会（伊藤秀雄委員長）
布施孝尚会長より、使用済切手をいただきました。

クラブ協議会（担当：加藤亮幹事）その2

- ・公共イメージ・広報委員会（小野寺伸浩委員長）
クラブ会員、地元のメディア、地域社会の人びとに、佐沼クラブの活動やプロジェクトを広く知ってもらう為に活動します。
 1. RIの方針に準拠し、ロータリーの公共イメージを向上させる。
 2. 公共イベントに参加し、ロータリーに対する一般の理解を深め、地域社会との関わりを推進する。
 3. ソーシャルメディアを活用して、ロータリーとクラブに対する認識を地域社会で高める。
- ・プロジェクトや活動の質を高め、メディアの関心を引くものとする。
特に最後のプロジェクトや活動の質については、各委員会の委員長の手腕に期待すること大です。気張ってご活動ください。また、実施結果等のご提供よろしくお願い致します。

- ・会員増強委員会（志賀昭洋委員長）

60周年に60名という会員数には惜しくも及びませんでしたが、引き続き60名を超えていくことを目標に努めていきたいと思います。会員増強は個々の動きだけで結果を出すことは困難ですので、皆様のご協力をお願いいたします。

1. 会員の皆様からの入会候補者の情報収集及び入会勧誘を行う。
2. 新入会員セミナーの開催（入会3年未満の会員対象）。年1回開催予定。

- ・クラブ奉仕・親睦委員会（岡本健一委員長）

下記例会を通じ、会員同士の親睦を深め、会員間の連携を強化し、ロータリークラブ活動の活発化を目指してまいります。一年間よろしくお願い致します。

- 8月 納涼家族例会
- 12月 クリスマス家族例会
- 1月 新年例会
- 4月 お花見例会
- 6月 バトンタッチ例会

- ・体操委員会（佐藤早智子委員長）

筋力や身体機能を向上させ健康維持促進に効果的で、なお転倒しにくい身体づくりを意識した体操を取り入れます。6名で担当します。よろしくお願いします。

- ・職業奉仕委員会（村上正弘委員長）

ロータリークラブの基本原則である「職業奉仕」について、クラブ個々の更なる意識の高揚に資することを目的として、以下の事業に取り組んでまいります。皆様のお知恵を拝借しながら事業を進めます。

1. 職場訪問例会の運営
2. 優良従業員表彰の実施
3. 職業奉仕フォーラムの開催

― 紙面の都合上、S・BOX、社会奉仕委員会は次週の週報に掲載いたします。